

新司祭の誕生

司祭叙階が古屋司教司式のもとに行なわれた。
マリスト会最初の邦人司祭である浅田師は、立命館大学哲学科卒業後、オーストラリアのトンガビニにあるマリスト会の神学校に入学、今年六月卒業と同時に帰國、出身教会である奈良教會で司祭に叙階された。師は、上智大学神学部の修士課程に入学、勉学をつづけられる予定である。因みに、師につづくマリス

ト会員邦人神学生一名が東京の神学校で勉学中である。
　　浅田師のことば——誰でも
　　外国へ行った時に感じること
　　は、教会は一つであるといふこと
　　です。日本において、信
　　者の数はそんなに増えないかも
　　知れませんが、キリスト教
　　についての理解を少しでも
　　得てもらう努力をして行きま
　　す。いとついています。
　　皆様方の沢山のお祈りに心
　　から御礼申し上げます。

園部教会に工場が

過疎地教会の希望

すでに日本での都市問題でよく知られている農村過疎化、私たちの地方では直接教科書の信者の生活にひびいてくる題である。

例えば私たちの町は人口五五千七百人台で、昭和三十五年以來十一年間は一万五千程減っている。世帯数はふえても子供の数が少ない。そして屋間、当町を出て都会に通する者約三千～四千人となると考へ、主婦と子供となると考へると、また既存の宗教を守るのを尊重するなど諸要素を考慮すると、要理研究のために教員に来る人はまず望めない。

プログラム (会費 1,500円 含一泊三食)

| 9月22日(火) | 23日(祝) |
|---|------------------------|
| 17:30 受付 | 7:30 静想 |
| 18:00 夕食 | 8:00 朝食 |
| 19:00 リクレーション (参加者紹介) | 9:00 聖書研究 |
| 19:30 おはなし 講師 岩木二郎師 「チャンバラ 人間論」 | 10:45 グループで はなしあい |
| 20:30 質疑 | 12:15 昼食 |
| 21:00 グループで はなしあい | 13:00 パネルの はなしあい |
| 21:30 短い懇親 | 15:00 お茶 |
| | 15:30 全体協議 「連帯を求めて」 |
| | 17:00 解散 |

去る八月二日、ドミニコ教会の創立者聖ドミニコの生誕八十一年前の祝賀式が行なわれた。万博バチカン銀行の教皇特使として来中のマレラの大使館を迎えて、河原町司教座聖堂で記念ミサが挙げられ、夕方にはドミニコ会聖トマス学院の庭園において祝賀ガーデン・パーティが盛大に行なわれた。尚、京都は今から三百六十年前にドミニコ会士が布教に活躍した土地である。

夏を思ふやうな暑さの中、午後四時半頃、六月二日、下鴨アカデミーへ向う。午後五時半頃、日本博の大使館にて、司教團のナショナルディレーナーへ招待され、そこで開かれた、オブスティン・アカデミーのディ会のマドルガ師とアカソウ師に、館付の村田師と共に、来阪された時に、司教團のナショナルディレーナーへ向う。司教團は、アカソウ師が案内されていらしたのである。



バチカン大使
下鴨アカデミー
を訪問

ペインのアヴィラに生まれ、一五三六年カルメル会に入会し、一五六二年カルメル会を改革して、新修道院を創立しました。その後、改革された修道院を各地に設立されると共に、神秘神学の粹といわれる幾冊かの書物を著わされました。

聖女は二五八二年、昇天され、一六八二年三月十二日には聖女の行列に加えられました。このたび、教皇パウロ六世は、「時のしるし」に注目し

の御絵をプレゼントなさり、また御自分の公式の服装の写真にサインして下鶴アカデミーに贈られ、教皇聖下と御一緒に為されました。(中島紀子)



編集室より

のひとときを
女子跳足カルメル会

河津町の方で活動し、三條会及合計八万八千円を集めた。(参加人員は十八円を集めた。) 五十九名のこの援助金は、カリタス・ジャパンを通して災害地に送られる。

す。ドミニコ会の第三回の会員であったシナの聖カタリナにも、十月四日に「教会博士」の称号がおくられることになつています。

街頭募金に活躍
市内各教会の青年会員有志
を中心としたペルー・リフォーム
ニヤ財政援助街頭募金が行なわれた。
六月二十七日から七月五日

は普段がおもむかせんのに簡単ですが、お望みの方には簡単にお仕事をお手伝いいたします。また靈的修業の合間に動きたい方は、左大文字山に登ったり、墓地を訪問されたりでありますし、草とりの仕事はいつあります。

河にての力で活動し、三箇会及ハ万八十八円を原町で活動した（参加人員は延五十九名）。この援助金は、カリタス・ジ・ヤパンを通じて災害地に送られる。

○発行日は十一月一日の予定です。尚クリスマス号は「平和問題」をテーマとする予定です。

604 京都都市中京区壬生
仙念町二三
カトリック教會
教区広報室時報係り
TEL(〇七五)
八四一一〇二三

○多くの方からたくさんのお
稿をいただき、感謝してお
ります。○集会室の不手際で、本号で
特集ができませんで、ごめんなさい。
○次号(第38号)では「労働問
題と私たち」というテーマ
で特集したいと思っています。
労働問題といつても範囲は
広いですが、「経営者、従業
員などそれぞれの立場、
キリスト信者として、労働
問題をどのように考えてい
るか、信徒使徒職といふ点

公会議後に感じること
登美ヶ丘教会 石山英勝

【ひとりと】
—— 大いに期待したいと思う。
　　大きよ変化こつて成る